



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年7月29日

上場取引所 東

上場会社名 旭有機材工業株式会社

コード番号 4216 URL <http://www.asahi-yukizai.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 亀井 啓次

問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 岡本 忠久

TEL 03-3578-6001

四半期報告書提出予定日 平成23年8月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	8,433	17.2	159	—	184	—	157	—
23年3月期第1四半期	7,195	34.9	△58	—	△40	—	△196	—

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 168百万円 (—%) 23年3月期第1四半期 △319百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	1.61	—
23年3月期第1四半期	△2.01	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	52,777	38,553	73.0
23年3月期	52,947	38,678	73.1

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 38,553百万円 23年3月期 38,678百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	3.00	—	3.00	6.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	3.00	—	3.00	6.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

平成24年3月期の配当予想につきましては、東日本大震災の影響により、業績予想の算定が困難であるため未定としておりましたが、平成24年3月期の業績予想の算定に伴い、上記のとおり公表いたします。

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	17,600	15.7	500	182.6	500	217.0	300	—	3.07
通期	36,600	12.0	1,700	43.3	1,700	64.3	1,000	346.4	10.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

平成24年3月期の連結業績予想につきましては、東日本大震災の影響により、業績予想の算定が困難であるため未定としておりましたが、最近の状況および業績の動向を踏まえ、上記のとおり公表いたします。

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期1Q	99,002,000 株	23年3月期	99,002,000 株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	1,325,248 株	23年3月期	1,322,003 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期1Q	97,678,395 株	23年3月期1Q	97,701,201 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表等	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	7
(4) セグメント情報等	7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く事業環境は、東日本大震災の影響によるサプライチェーンの寸断や電力供給の問題、中東・北アフリカの政情不安による原油価格の高騰懸念、米国の景気回復の遅れや欧州の財政危機等による円高の継続など先行き不透明な状況で推移しました。一方でアジアを中心とした新興国経済は堅調に推移しました。

このような事業環境の中、当社グループにおいては、管材システム事業は東日本大震災の復旧に伴う需要増加や米国子会社の好業績などにより好調に推移しました。一方、樹脂事業は東日本大震災の影響による自動車産業の生産減や原材料の高騰などにより厳しい状況で推移しました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は8,433百万円(前年同期比17.2%増)となり、営業利益は159百万円(前年同期の営業損失は58百万円)、経常利益は184百万円(前年同期の経常損失は40百万円)、四半期純利益は157百万円(前年同期の四半期純損失は196百万円)となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

①管材システム事業

国内の民間設備投資は全体では弱い動きで推移したものの、東日本大震災の復旧に伴う需要増加に伴い主力の配管材料の売上は前年同期を上回りました。海外においては、中南米市場を開拓した米国子会社が好業績を維持し、アジアでも韓国をはじめとする半導体・液晶業界が好調に推移し、Dymatrix製品や電子機器向け洗浄装置の売上が伸びました。このような中で、販売においては、販売子会社の統合の実施など営業体制の強化を図り、製造においては、生産拠点集約などの生産効率の向上、物流コスト削減などを進めました。

その結果、当セグメントの売上高は5,635百万円(前年同期比25.6%増)、営業利益は327百万円(前年同期の営業損失は107百万円)となりました。

②樹脂事業

主要仕向け先である自動車産業は、東日本大震災の影響により生産が大幅に落込み、サプライチェーンの急速な復旧などから回復基調ではあるものの、震災前の水準には届かない状況が続き、当社の鋳物用樹脂及びレジンコーテッドサンドの売上は伸び悩みました。一方、工業用樹脂や中国の樹脂製造販売子会社の売上は好調に推移しました。ノンフロン現場発泡システムをもつ発泡材料用樹脂については、拡大に向け積極的に販売促進活動を続けました。これらの結果、売上高は前年同期を上回りました。しかし、国内の生産稼働率が低下したことや、主要原材料調達先の被災を受け、原材料確保が厳しい状況により調達価格が高騰したことなどから収益が圧迫されました。

その結果、当セグメントの売上高は2,798百万円(前年同期比3.3%増)、営業損失は131百万円(前年同期の営業利益は67百万円)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間末の資産は52,777百万円となり、前連結会計年度末に比べ170百万円減少しました。これは原材料確保等による流動資産の増加を、投資有価証券を売却したことなどによる固定資産の減少が上回ったことによるものであります。負債は14,224百万円となり、前連結会計年度末に比べ45百万円減少しました。これは主に短期借入金金の減少によるものです。純資産は38,553百万円となり、前連結会計年度末に比べ126百万円減少しました。これは配当金が四半期純利益より多かったためです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、世界経済は緩やかな回復基調が続くものと期待されるものの、欧米諸国の金融不安が懸念されるなど予断を許さない状況にあります。また、国内では自動車産業の年内回復が見込まれますが、東日本大震災の影響による電力不足や原材料の高騰、加えて円高の急伸など先行き不透明な状況が予想されます。

このような背景のもとで、当社グループは、新製品・戦略事業の強化・拡大および新規事業の育成など中期経営計画で掲げた諸施策を進めてまいります。また、あらゆる災害にも対処できるサプライチェーンの構築に努めてまいります。

これらを踏まえ、当期の連結業績予想は、売上高366億円、営業利益17億円、経常利益17億円、当期純利益10億円を見込んでおります。

なお、連結業績予想につきましては、本日（平成23年7月29日）別途「業績予想および配当予想に関するお知らせ」においても公表しております。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表等

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,360	3,217
受取手形及び売掛金	12,746	12,458
有価証券	78	76
たな卸資産	6,892	7,601
その他	948	978
貸倒引当金	△38	△29
流動資産合計	23,985	24,301
固定資産		
有形固定資産	13,526	13,598
土地	6,044	6,039
その他(純額)	7,482	7,559
無形固定資産	249	297
投資その他の資産		
投資有価証券	10,294	9,712
その他	4,921	4,897
貸倒引当金	△29	△29
投資その他の資産合計	15,186	14,580
固定資産合計	28,962	28,475
資産合計	52,947	52,777
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,904	7,210
短期借入金	1,500	1,400
未払法人税等	140	57
引当金	—	341
その他	2,921	2,527
流動負債合計	11,466	11,536
固定負債		
退職給付引当金	1,267	1,282
役員退職慰労引当金	285	164
その他	1,251	1,242
固定負債合計	2,803	2,688
負債合計	14,269	14,224
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,000	5,000
資本剰余金	8,479	8,479
利益剰余金	26,226	26,093
自己株式	△555	△555
株主資本合計	39,151	39,017
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4	△40
為替換算調整勘定	△477	△424
その他の包括利益累計額合計	△473	△464
純資産合計	38,678	38,553
負債純資産合計	52,947	52,777

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	7,195	8,433
売上原価	4,984	5,999
売上総利益	2,211	2,435
販売費及び一般管理費	2,269	2,276
営業利益又は営業損失(△)	△58	159
営業外収益		
受取利息	8	2
受取配当金	18	22
持分法による投資利益	2	10
有価証券償還益	90	—
為替差益	—	3
その他	12	9
営業外収益合計	131	46
営業外費用		
支払利息	1	6
複合金融商品評価損	54	12
為替差損	47	—
その他	11	3
営業外費用合計	113	21
経常利益又は経常損失(△)	△40	184
特別利益		
固定資産売却益	15	62
投資有価証券売却益	—	5
特別利益合計	15	66
特別損失		
固定資産除却損	3	1
退職特別加算金	286	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	19	—
特別損失合計	307	1
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△332	249
法人税等	△133	92
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△199	157
少数株主損失(△)	△3	—
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△196	157

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△199	157
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△138	△41
為替換算調整勘定	22	53
持分法適用会社に対する持分相当額	△3	△1
その他の包括利益合計	△120	11
四半期包括利益	△319	168
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△316	168
少数株主に係る四半期包括利益	△3	—

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)	四半期連結財務 諸表計上額
	管材システム 事業	樹脂事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,487	2,708	7,195	—	7,195
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	4,487	2,708	7,195	—	7,195
セグメント利益又は損失(△) (営業利益又は損失(△))	△ 107	67	△ 40	△ 18	△ 58

(注) セグメント利益又は損失の調整額は、各報告セグメントに配分されない全社費用(主に報告セグメントに帰属しない基礎研究開発費及び報告セグメントが負担する一般管理費及び研究開発費の配賦差額)であります。

II 当第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)	四半期連結財務 諸表計上額
	管材システム 事業	樹脂事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,635	2,798	8,433	—	8,433
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	5,635	2,798	8,433	—	8,433
セグメント利益又は損失(△) (営業利益又は損失(△))	327	△ 131	196	△ 37	159

(注) セグメント利益又は損失の調整額は、各報告セグメントに配分されない全社費用(主に報告セグメントに帰属しない基礎研究開発費及び報告セグメントが負担する一般管理費及び研究開発費の配賦差額)であります。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。